

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ		公表日		R8年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容に応じて部屋を使用しています。	定期的に見直しながら再構造化を行っていきたくと思っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容や時間帯に合わせ工夫しています。	急な欠勤や変更時に配置は満たしているものの、余裕をもった支援を確保しづらいこともあるので支援の質が低下しないよう努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じて再構造化を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に不必要なものを処分したり、環境を整えています。	「後でしよう」がそのままになっていることもあるので、声を掛け合いながらお互いフォローしながら環境を整えていきたいと考えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じて部屋を交代して使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		終礼時に共有をしています。	目標は設定しても振り返りの時間を確保できていないこともあるので、時間設定を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		終礼時に情報を共有したり、個別面談で意見を聞いたりしています。	拾い上げられていない部分もあるので、面談や話しやすい雰囲気作りにも努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		充実していると思います。	意欲があれば学べる環境にあるので、積極的に評価し事業所内で発表し深めていけるようにしていきたいと思っています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			全員に周知できていないので伝えていけるようにしたいと考えています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		必要に応じて検査を行ったり保護者からのニーズを計画に取り入れるようにしています。	アセスメント方法などを全員で再確認し、支援に活用できるようにしていきたいと思っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当はいるが、どのスタッフも支援に入るため一緒に検討することができています。	じっくりと話し合うことがすぐにできていないこともあるので、時間の確保に努めていきたいと思っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		同じねらいで取り組んでいるが、共有不足なこともあります。	ねらい自体がブレてしまうこともあるのでケア会議等で共有し、支援の統一を図っていきます。 記載された内容が、支援できていないことがまれにあるため計画の確認をしてから支援に入っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			必要に応じて検査は行っているが、行動の観察・分析までできていないこともあるので活用していけるように取り組んでいきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			関係機関との情報共有の機会が少なく連携が限定的になっているため、電話・メールを活用し連携強化を図っていきます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月の担当を中心に行っています。	月の担当、イベント担当など担当者に大きな負担が行きがちなので、チームとして取り組んでいけるよう体制作りを行ってきたいと考えております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ねらいは同じでも活動内容を変え楽しく取り組めるようにしています。	今後も固定化しないように進めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせが足りていない時もありますが、朝礼時に確認しています。	チーム全体で動ける関係作り、支援分担を図っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時に毎日行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の取り方の統一をしています。	誰がみても分かりやすい記録方法に努めます。分析の機会を増やしていきたいと思えます。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			必要に応じて対応できていない部分もあるので、状況に応じて見直しができるようにしていきたいと思えます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		スケジュールを選択したり決めたりできるようにしています。	今後も見直ししながら継続して取り組んでいきます。
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が主だが担当が参加することもある。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			共有されているところが少ないので、働きかけていきたいと思っています。
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		幼保小連絡会に参加することもあります。	幼保小連絡会に参加できない時は個別に共有を図っているが、すべての利用児ができていないので検討していきたいと思えます。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修の案内はもらっています。	案内が来ては参加までは至っていないので参加できるよう努めていきたいと思えます。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			事業所での交流もないので検討していきたいと思えます。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			管理者が参加しています。全員に周知が図れていないため知らないスタッフも多いので共有を図っていきます。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にフィードバックを行っています。	支援後のフィードバックや事業所内相談を行い、相談しやすい関係作りや雰囲気事業所全体で努めていきます。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的開催しています。	参加される方が固定化しやすいので、開催時期も検討しながら多くの方に参加してもらえるようにしていきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をしています。変更があった時は説明・同意を得ています。	契約時に説明することが多く、いつでも見られるように掲示していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を毎回行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談を行い面談をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		父母会はありませんが、家族参加行事があります。イベント時やペアレントトレーニング開催時に交流を図っています。	参加される方が固定化しやすいので、多くの方に参加していただけるように呼びかけていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		すぐにスタッフへ周知し、改善策を検討しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSにて発信をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報等の漏れがないよう注意を払い、裏紙等の使用の際は注意していきます。個人情報が入っている場合は破棄します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		無料講演会を開催しています。コミュニケーションはあるが、施設行事に招待はしていません。	法人全体としても検討していきたいと思えます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		いつでも見れるよう待合室に置いてあります。定期的な訓練を行っています。	今後も事故防止に努め、定期的な訓練を行っていただけるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練、引き渡し訓練を行っています。防災グッズを備えています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		そらまめシートを活用している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画的に実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		Goodフォームを活用し全事業所で共有し防止に努めています。	すぐに共有、改善とスピードを持って対応できるようにしていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回研修実施しています。	今後も定期的に研修を行い、防止に努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		委員会を中心に検討しています。支援計画に記載し、保護者に同意を得ています。	保護者の同意をしっかりと得るようにし、支援方法も随時検討していただけるように取り組んでいきます。	